



1970年2月13日
第93号
発行 新潟県巻町役場
電話 代表 23131
編集 商工観光課
印刷所 北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
(昭和45年1月31日現在)
総人口 27,567人
男 13,335人 女 14,232人
世帯数 6,035

住民税・所得税・事業税 共同納税相談所を開設 あなたに損な無申告



いつも変わる申告風景(昨年、公民館会場で写す)

八日の魚田地区を皮切りに住民税・所得税・事業税三税の共同納税相談所を開設します。日曜のお開きですが、日曜の納税相談日を指定しましたが、ごうの悪い方は、提出していただく。お、所得税の確定申告書は提出した人は、住民税・事業税の申告書も提出する必要があります。その際、確定申告書の「住民税・事業税に関する事項」の欄に記載もれのないようしてください。

▽住民税の申告をしなれない人
昭和四十四年中に所得が
あり、昭和四十五年一月一日現在巻町に住所がある人
農業、営業、外資員、大工
左官など自由業を営んでいる人、地代、家賃、配当
などの所得のある人
昭和四十四年中に土地、
家屋などの不動産を譲渡された人、所得税の確定申告をしない人

申告会場日程表

月日	会場	時間	対象区域
2月28日	角田農協	午前10時30分~午後4時	角田浜、越前浜
2日	四ヶ郷公民館	午前9時30分~午後4時	四ヶ郷屋
3月3日	竹野町公民館	午前9時~午後4時30分	竹野町、前田、仁箇
4日	浦浜駐在室	午前10時30分~午後4時	五ヶ浜、角海浜
5日	福木岡農協	午前9時~午後4時30分	松野屋、平沢、橋井、蜂岡、舟戸、七木島、下木島、鷲の木、天神町
6日	松野尾農協	午前9時~午後4時30分	松野尾、新月
7日	漆山農協	午前9時~午後4時30分	大原、松山
9日	漆山農協	午前9時~午後4時30分	鶴頭、桜林、栄町、並岡、馬廻
10日	漆山農協	午前9時~午後4時30分	河井、柿島、山島、東町
11日	漆山農協	午前9時~午後4時30分	漆山1の丁~8の丁
12日	漆山農協	午前9時~午後4時30分	赤さび、安現、下和納、羽田、中郷屋、葉堂場、鶴前、東津上
13日	漆山農協	午前9時~午後4時30分	1区~7区
14日	巻町公民館	午前9時~午後5時	8区~13区、東6区、郷山団地
15日	巻町公民館	午前9時~午後5時	巻町一円
16日	巻町公民館	午前9時~午後5時	巻町一円

また、給与所得者で他の所得(農業、営業、地代、家賃、配当など)がある人この場合、給与以外の所得が五万円未満であれば所得税の確定申告の必要はありませんが、住民税(町・県民税)は申告してください。申告期限は三月十六日までに申告してください。申告書は三月十六日まで必ず申告会場に持参するものとしてください。申告書は、住民税・事業税の申告書と所得税の申告書の二枚を提出してください。申告書は、住民税・事業税の申告書と所得税の申告書の二枚を提出してください。申告書は、住民税・事業税の申告書と所得税の申告書の二枚を提出してください。

農耕用軽油免税証を交付

2月24日 巻財務で
農耕用動力機(エンジン)に使用する軽油の免税証を交付します。希望者は、次のように申請してください。
一、日時 二月二十四日(巻、漆山地区)、二十五日(藤岡、松野屋、魚田浜地区)。いずれも午前九時から午後四時まで。
二、会場 巻財務事務所
三、持参するもの
イ、免税証申請書(役場申請書)
ロ、機械の名前、エンジン番号、馬力などが明確にわかるカタログ、検査合格証または販売店の売り渡し証明書
ハ、機械の所有証明書(役場の証明か販売店の売り渡し証明書)
ニ、耕作面積証明書(役場の証明)
ホ、印かん(共同申請の場合)は全員のもの
ヘ、印かん(共同申請の場合)は印かん
ヘ、耕作面積証明書(役場申請書)
ハ、耕作面積証明書(役場申請書)
ニ、印かん(共同申請の場合)は印かん
ホ、印かん(共同申請の場合)は印かん

高校通止 交通止め

西浦通りのうち、伊勢屋通りから高校通まで都市下水路工事を実施中ですが、工事の進行状況により、交通止めが多くなります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。
西浦通りのうち、伊勢屋通りから高校通まで都市下水路工事を実施中ですが、工事の進行状況により、交通止めが多くなります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。

漆山保育園で 娘衆大会

二月二十二日町立漆山保育園で、お正月娘衆大会を行いました。お正月娘衆大会を行いました。お正月娘衆大会を行いました。

浦浜で「原電と安全性」の講演会

部落民、真剣に勉強

町原子力利用調査会は二月二日、浦浜小学校で新潟大学工学部教授小林五郎氏を招き、「原子力発電所と安全性について」の講演会を開きました。講演会には、浦浜地区の部落民を中心に、約百人が参加しました。小林教授は、原子力発電所の安全性について、専門的知識をもち、分かりやすく説明しました。部落民は、真剣に話を聞き、疑問点を質問していました。小林教授は、部落民の疑問に丁寧に答え、安全性を説明しました。

発射所の開発

発射所の開発は、原子力発電所の安全性を確保するために不可欠です。小林教授は、発射所の開発について、専門的知識をもち、分かりやすく説明しました。部落民は、真剣に話を聞き、疑問点を質問していました。小林教授は、部落民の疑問に丁寧に答え、安全性を説明しました。

小林教授の講演に聞き入る部落民



小林教授の講演に聞き入る部落民

交通災害共済に加入を

近頃、交通事故が増えています。交通災害共済に加入することで、万一の事故に備え、家族の生活を守ることができます。加入料は、月額約三百円です。加入申し込みは、巻町役場市民課までお問い合わせください。

